

授業科目(ナンバリング)	卒業研究(DH401)			担当教員	卒業研究担当教員		
展開方法	演習	単位数	4単位	開講年次・時期	4年・通年	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
福祉に関する諸問題について、自らが興味関心を持ったテーマを選び、これまで修得してきた知識や技術を総合して「研究」を行い、卒業研究としてまとめることを目指す。また、卒業研究作成に伴う「卒業研究中間発表会」への参加など、計画的に準備し遂行する力を着実につけることも目標とする。それらを通じて、ディプロマポリシーに示す社会が抱える様々な(福祉)問題の全体像を把握・整理し、社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を涵養することを目標とする。							④⑤⑥⑧ ⑨⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	卒業研究論文の作成を通して、社会福祉を学ぶ者として必要な幅広い専門的知識を理解し、それを思考力や判断力、表現力を涵養することに用いることができる。				卒業研究論文作成	40%	
情報収集、分析力	社会における福祉問題に関する情報を収集し、それらを分析・批評することができるとともに、その成果を卒業研究論文の作成に反映させることができる。				卒業研究論文作成 取り組み	10% 5%	
コミュニケーション力	卒業研究中間発表会参加を通じて、ゼミ内外の人の多くの意見を傾聴するとともに、自分の考えを明確にしたうえで、相互理解を図るための議論に参加できる。				中間発表	20%	
協働・課題解決力	中間発表でのレジュメの作成およびプレゼンテーションを通じて、自己の課題を的確に把握するとともに、他のゼミ生と協力して卒業研究論文の作成に向けた方策を立案し、実行する営みに寄与できる。				中間発表 取り組み	10% 5%	
多様性理解力	福祉に関する知識や理論を多方面から理解し、それを通じて真の共生社会を実現するための活動を考えることができる。				卒業研究論文作成	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業への出席・参加は当然の評価要件とし、卒業研究論文の作成(評価比率60%)や中間発表会での発表(評価比率30%)、論文の執筆過程・取り組み(評価比率10%)などによって総合的に評価する。論文作成については知識を理解し、それを思考力や判断力、多様性理解や表現力へと昇華できているかどうかを評価する。中間発表会での発表については、レジュメの作成およびプレゼンテーションを通じて、ゼミ内外に人の意見を傾聴するとともに、自分の考えを明確にしたうえで、相互理解を図る議論に参加できているかどうかを評価する。発表内容に関しては、中間発表会やゼミ内にコメントの形でフィードバックを行う。論文作成への取り組み姿勢については、論文作成にあたって必要な情報の収集ができているか、中間発表会での議論に積極的に参加できているかどうかを評価する。</p>							
授業の概要							
<p>卒業研究作成に関しての指導を行う。学生が自らの興味関心に基づき、長期にわたって研究を行う。ゼミ内のプレゼンテーションやディスカッション、インターネットを活用した文献検索・情報収集、ポートフォリオでの諸連絡・指導等を通じて、充実した研究活動となるよう授業を展開していく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：担当教員の指示による。</p> <p>参考書：担当教員の指示による。</p> <p>指定図書：担当教員の指示による。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
4年制大学の学生としてふさわしい教養と専門知識・実践力を身につけるための集大成として、卒業研究の作成に真剣に取り組むことを期待したい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	演習の進め方や年間スケジュールの確認を行う。	復)年間スケジュールの確認
2	卒業研究題目届の作成①	卒業研究題目届を作成する。	予・復)卒研題目届の準備
3	卒業研究題目届の作成②	題目届の内容を確認のうえ、指導教員に提出する。	予)卒研題目届の最終確認
4	論文の作成・検討①	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
5	論文の作成・検討②	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
6	論文の作成・検討③	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
7	論文の作成・検討④	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
8	論文の作成・検討⑤	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
9	論文の作成・検討⑥	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
10	論文の作成・検討⑦	各人が論文作成を進めるとともに、進捗状況を適宜発表し、その内容を全員で検討する。	予・復)論文と資料の作成
11	卒業研究中間発表会のレジュメ作成①	卒業研究中間発表会のレジュメを作成する。	予・復)レジュメ作成の準備
12	卒業研究中間発表会のレジュメ作成②	卒業研究中間発表会のレジュメを作成する。	予・復)レジュメ作成の準備
13	卒業研究中間発表会①	卒業研究中間発表会のレジュメを指導教員に提出する。	予・復)レジュメ作成の準備
14	卒業研究中間発表会②	中間発表会に参加する。	予)中間発表会の練習
15	卒業研究中間発表会③	中間発表会に参加する。	予)中間発表会の練習
16	卒業研究中間発表会④	卒業研究中間発表会の報告書を指導教員に提出する。	予)報告書の作成
17	論文仮提出①	仮提出前の論文の最終チェックを行う。	予)論文の書式・内容の確認
18	論文仮提出②	論文を指導教員に仮提出する。	予)最終チェックに基づく修正
19	論文の査読結果の返還①	返還された論文の査読結果を個別に検討する。	予・復)査読結果の資料作成
20	論文の査読結果の返還②	返還された論文の査読結果を個別に検討する。	予・復)査読結果の資料作成
21	論文の査読結果の返還③	返還された論文の査読結果を個別に検討する。	予・復)査読結果の資料作成
22	論文の修正①	査読結果を踏まえ、論文を修正する。	予・復)論文修正の準備
23	論文の修正②	査読結果を踏まえ、論文を修正する。	予・復)論文修正の準備
24	論文の修正③	査読結果を踏まえ、論文を修正する。	予・復)論文修正の準備
25	論文本提出	最終チェックのうえ、論文を教務課に本提出する。	予)論文の最終チェック
26	卒業研究論文の振りかえり・自己評価①	作成した卒業研究論文の振りかえりと自己評価を行う。	予)論文を詳細に再読
27	卒業研究論文の振りかえり・自己評価②	振りかえり・自己評価の結果をゼミ内で発表し、共有する。	予)発表の準備
28	評価結果のフィードバック①	担当教員による卒業研究論文の評価結果にもとづく指導・フィードバックを行う。	予)自己評価の振りかえり
29	評価結果のフィードバック①	担当教員による卒業研究論文の評価結果にもとづく指導・フィードバックを行う。	予)自己評価の振りかえり
30	まとめ	全体を通しての振りかえりとまとめを行う。	予)これまでの作業の振りかえり